

10月度座談会

佐渡御書

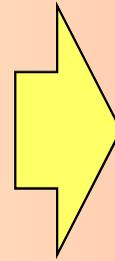
* * 地区

背景と大意

- 文永9年3月 51歳 佐渡・塚原
- 対告衆 : 門下弟子一同
- 迫害の中、退転者が続出する
- 二月騒動で自界叛逆難の的中
- 「師子王の心」で戦えば仏となる
- 「法難」により宿命転換できる

畜生の心

弱きをおどし
強きをおそる



権力に媚び
へつらう邪僧

悪僧・邪僧・邪悪の権力には
生命の本質に畜生の心が

弟子よ勝て！ 畜生に負けるな

悪王の・・・智者を失わん時

悪王・邪法の
僧等が結託

権力

智者・正法
を弾圧

平佐衛門
良観の弾圧

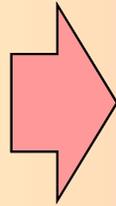
流罪

喜悅はかりなし
幸の中の幸い

広布の労苦を勇んで担い立て
何ものにも負けない仏の大境涯

師子王の心

師子王の心
必ず仏に

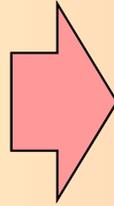


大聖人の実践に
仏の境涯と闘争

- 弟子よ、日蓮の如く立ち上がれ
- 戦い抜く命の中に仏界が涌現
- 我が本舞台で戦い続けよ

おごれるにはあらず

おごり慢心
ではない



正法を惜しむ心
の強盛なるべし

- 身を惜しまず法を惜しむ心
- 不惜身命の精神と師子王の心

不惜身命こそ日蓮仏法の魂

指導から

- 師子王の心とは最高の勇気である
- 戦う心を決定して戦えば強くなる
- 正義の大確信に信心の極意がある
- 一人一人が師弟不二の師子王たれ
- 師子王の血脈は創価の師弟のみに

我が弟子よ師子王の心で勝て
喜び勇んで前進の人生を